

◎はじめにお読みください。

1. 本紙に記載された内容は製品の仕様、付属品の変更によって変更される場合がございます。
記載事項は正確を期すべく細心のチェックを行っていますが、内容の正確性については保証致しかねます。
当社は予告なしに内容を変更する権利を有します。

2. 本製品の耐荷重は開発時試験環境下での確認であり、使用時全ての状況での動作を保証するものではありません。

3. 本製品の組み立て、調節には付属品以外の工具が必要になる可能性がございます。
本紙内には付属しない製品の画像や用語を記載することがあります、付属品については本紙の付属品欄に記載がある物のみとなります。

4. 組み立て時は素手ではなく滑り止め / 保護用の手袋を使用いただくことお勧めいたします。

5. 他社登録商標・商標をはじめ、本紙に記載されている会社名、システム名、製品名は、一般的に各社の登録商標または商標です。

最後に、本製品をご購入いただきましてありがとうございます。

本マニュアルの最新版は弊社HPの本製品ページに掲載されております。

右上のVerをご確認の上、弊社HPに掲載されているVerの方が新しい場合は、そちらをご確認の上、組み立てを行ってください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

あなたや他人への危害や財産への損害を未然に防ぐため必ずお守りいただくことを記載しております。

危険 死亡または重傷を負う恐れが大きい内容です。

警告 死亡または重傷を負う恐れがある内容です。

注意 軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある内容です。

!
気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。

!
してはいけない「禁止」の内容です。

!
必ず実行していただく「強制」の内容です。

免責事項

お客様または第三者がこの製品の誤使用や使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた直接的、間接的損害について、法令上の賠償責任が認められる場合を除き社は一切その責任を負いませんので予めご了承ください。

製品仕様

シリーズ名	Monitor Arm Basic
対応規格	VESA 75x75mm / 100x100mm
対応モニタサイズ	17 ~ 32 インチまで
耐荷重	2~9kg まで
取付方式	クランプ方式 / グロメット方式
取付可能天板	クランプ : 10 ~ 80mm グロメット : 10 ~ 40mm
取付必須スペース	幅 : 120mm / 奥行 : 103mm
可動範囲	回転 : 360°(±180°) パン : 180°(±90°) チルト : 110°(±55°)
本体サイズ	約 503 x 117 x 578mm (W x D x H)
重量	約 2.2kg
素材	アルミ / スチール / プラスチック
保証期間	1年間

サポート / 連絡先

販売元 株式会社アーキサイト
〒110-0006 東京都台東区秋葉原5-9 明治安田生命秋葉原ビル
<https://archisite.co.jp>
サポートダイヤル | 03-6859-0284
受付時間 | 10:00~12:00 / 13:00~17:00
(弊社指定定休日・年末年始・土日・祝祭日を除く)

△ 危険

- ◎ 本製品を火の中、電子レンジ等に入れたり、加熱したりしないでください。事故や破損の原因となります。
- ◎ 本製品の分解、改造を行わないでください。事故や破損の原因となります。
また、分解、改造の痕跡がある場合、保証期間内でも交換、修理対応をお断りさせて頂く事があります。
- ◎ 本製品を直射日光の当たる場所や炎天下の車中、暖房器具の傍で使用、もしくは保管をしないでください。
事故や破損の原因となります。

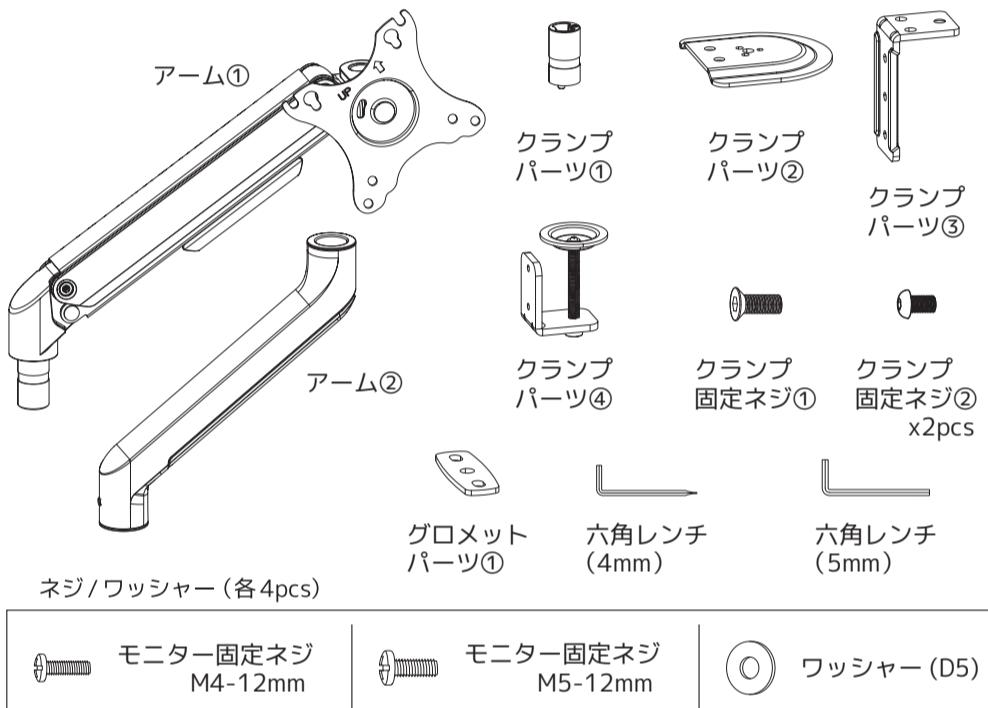
△ 警告

- ◎ 本製品に強い衝撃や圧力を与えないでください。与えてしまった場合は、一旦使用をやめて各部に破損がないかを確認してください。そのまま使用を続けると破損や事故の原因となります。
- ◎ 水分や湿気の多い場所では本製品は使用しないでください。
- ◎ 液体に本製品を入れたり、濡らしたりしないでください。
- ◎ 濡れた手で本製品に触らないでください。
- ◎ 小さなお子様の手の届く場所に本製品を設置・放置しないでください。
- ◎ 本体にほこりが付着した場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- ◎ 本製品を取り付けや設置に関しては本マニュアルに記載されている通りに行ってください。
また、取り付けた後は、そのままデスクを動かさないでください。
- ◎ 本製品を振動のある場所で使用しないでください。

△ 注意

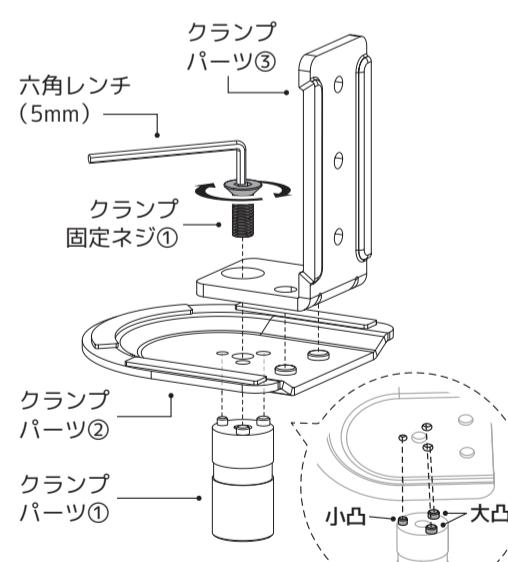
- 本製品の耐荷重は9kgです。9kgを超える機器を取り付けないでください。
- 本製品の対応インチは目安です。耐荷重を確認し、9kg以下の機器を取り付けてください。
- ◎ 以下のようないくつかの場所で使用、設置をしないでください。破損や故障の原因となります。
 1. 強い磁界が発生するところ
 2. 火気の周辺や熱のこもるところ
 3. 水や水場の近辺
- ◎ 有機溶剤で本製品を拭かないでください。
- ◎ ネジや各種部品は接続の方向を確認した上で差し込んでください。
- ネジ、ストッパーは付属の部品を使い、しっかりと固定してください。
- ネジやストッパーは時間経過とともに緩みがおきます。定期的に固定がされているかを確認してください。
- ◎ 取り付けるモニタの重量バランスによってはモニタを縦で使用する時に、重量が重い方に傾く可能性があります。

1 付属品一覧

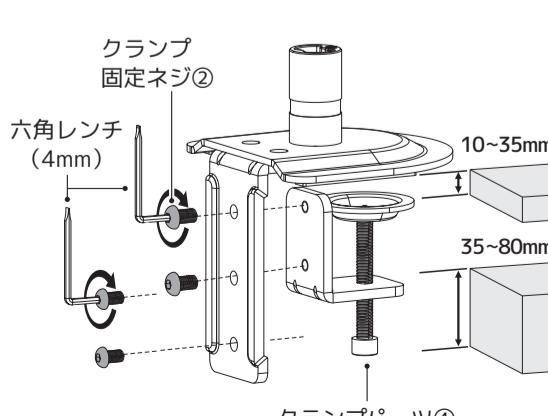


2a アームの組み立て / デスクへの固定方法(クランプ方式)

下図をご確認の上、下記の手順で組み立て・固定を進めてください。

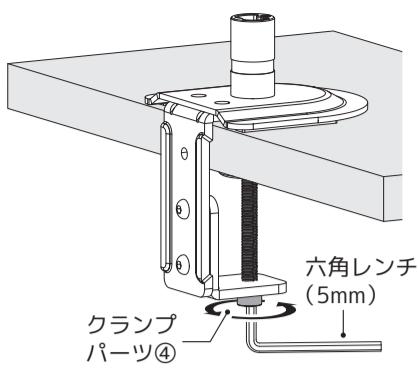


- ① 左図を参照にクランプパート①～③を組み合わせ、付属の六角レンチ(5mm)を使ってクランプ固定ネジ①をしっかりと固定をしてください。



- ② クランプパート①と②を組み合わせる際は小凸が1つ、大凸が2つあるので、それぞれがしっかりとはまるように組み合わせてください。

- ③ 左図を参照に①で組み合わせたクランプ部品にクランプ固定ネジ②でクランプパート④を固定します。クランプパートが完成します。
取り付けるデスクの天板の厚さが10~35mmの場合はクランプ部品の上2つの穴に合わせてクランプパート④を固定してください。
35mm以上の天板の場合は下2つの穴に合わせて固定をしてください。



クランプをデスクに固定するには下記スペースが必要です。取り付ける前にご確認ください。
対応の厚さ / 幅 / 奥行
 厚さ:10~80mm / 幅:120mm / 奥行:103mm

- ⑤ デスクに固定する際は、左図を参照にクランプパート④の底面のネジを付属の六角レンチ(5mm)で回して固定をしてください。
 緩みがないかを確認してしっかりと固定をしてください。

⚠ クランプの取り付けに関する注意

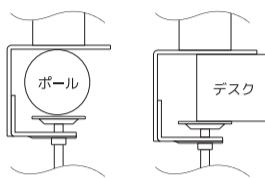
1. アームの締め付けが十分か確認してください。また、アームの取り付け方向は常に設置するデスクの上にアームがあるように取り付けてください、デスク外にアームが飛び出すような設置は決して行わないでください。

2. 取り付けの際はポール部分が垂直になるように取り付けてください。
 ポールが傾いている等、垂直以外の角度での取り付けは非常に危険です。 **取り付けできない例**

3. デスクに取り付ける際はしっかりとクランプの奥までデスクを挿し込み、隙間がないことを確認してから取り付けてください。

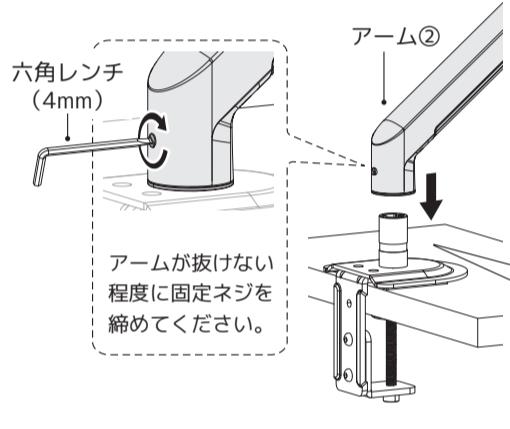
右図のようなデスクには決して取り付けないでください

- ・取り付けるデスクの天板にクランプが隙間なく収まらない
- ・クランプが一番奥まで差し込めない
- ・クランプの内面の上側、下側がデスクと全て接しない

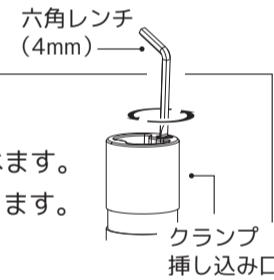


2b アームの組み立て方法

下図をご確認の上、下記の手順で組み立て・固定を進めてください。

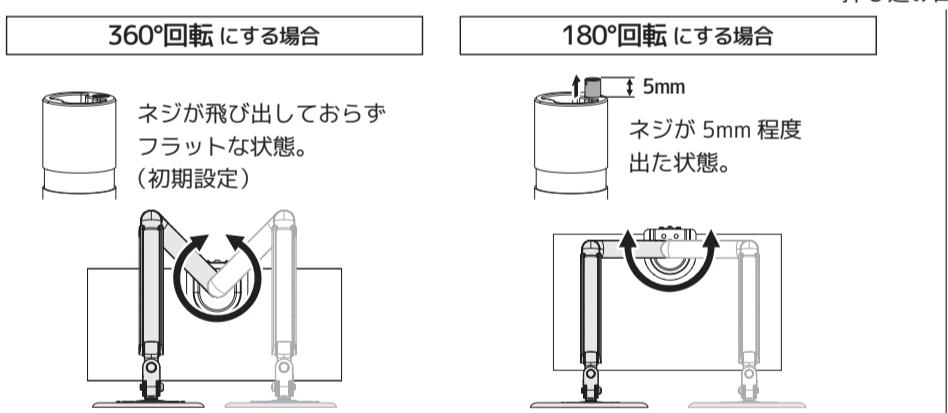


- ① 机に取り付けたクランプパートにアーム②を挿し込み、アーム②の挿し込み口近くにある固定ネジを締めてアームが抜けないように固定をしてください。



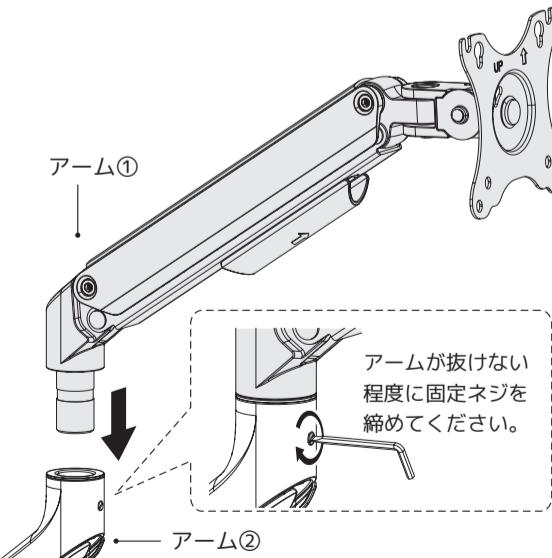
アームの回転率の設定について

アームの回転は360°回転、180°回転のふた通りから選べます。
 クランプ挿し込み口にあるネジの状態で回転率を設定します。
 ネジは六角レンチ(4mm)で調整できます。

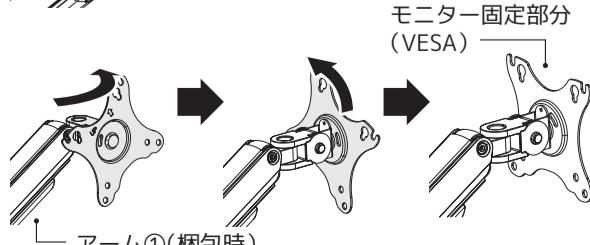


360°回転にする場合

180°回転にする場合



- ② アーム②にアーム①を挿し込み、①と同じようにアーム②の挿し込み口近くにある固定ネジを締めてアームが抜けないように固定をしてください。



- ③ 梱包時はアーム①のモニター固定部分(VESA)は左に折りたたまれています。使用時はVESA部分上部の「UP↑」という記号が正面真上を向いた状態に直してからご使用ください。

3 モニターの取り付け方法

⚠ モニターの取り付けに関する注意

1. ネジは75x75/100x100モニタに対応するそれぞれの一般的なネジを付属しております。
 付属のネジが合わない場合は、ネジの強度に十分注意の上、市販の対応するものをご購入ください。

2. 使用するネジはご使用されるモニタによって異なります。取扱説明書を確認したりメーカーに問い合わせる等、取り付け可能なネジの情報を入手してから取り付けてください。

3. 本製品はVESA取り付け面が平らなモニタ用に作られております。
 曲面モニタ等、VESAの取り付け面が平らではないモニタは使用できないことがありますので、お取り付け前に取り付け面をお確かめください。

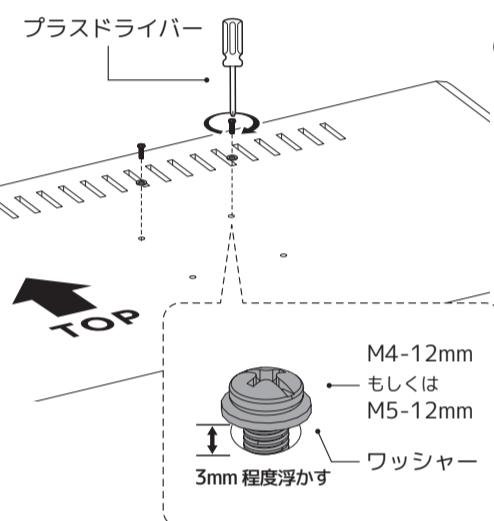


4. ネジの取り付けが強すぎるとモニタを破損し、弱すぎると固定がしっかりできず脱落する恐れがあります。また、取り付け時のモニタやネジの破損については弊社は一切の責任を負いかねますので、取り付け時は慎重に作業をしてください。

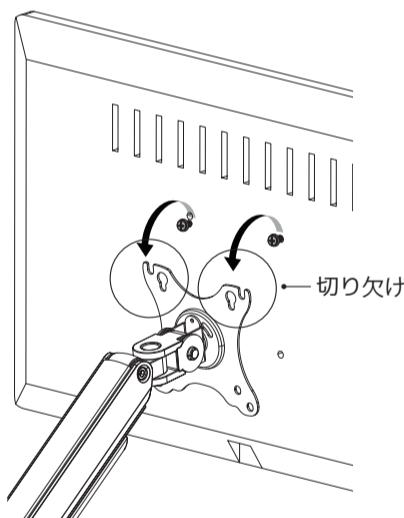
各部のネジはしっかりと締め付け固定をしてください。
 定期的にネジの緩みがないかを確認し緩んでいる場合はネジの締め直しを行ってください。

上記の注意事項を確認の上、下図のように取り付けるモニターにネジを取り付けてください。

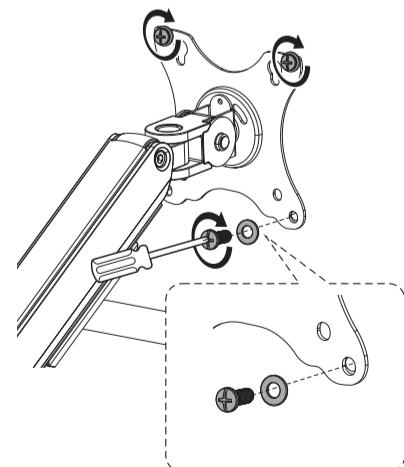
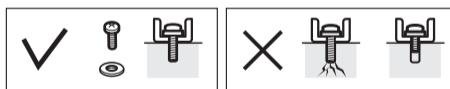
ネジを締める際は電動ドライバー等を使わず、必ずプラスドライバーを使ってネジの締め具合を確認しながら行ってください。



- ① 付属のM4-12mmネジ、もしくはM5-12mmネジとワッシャーを組み合わせ、取り付けるモニターのVESA穴の上2つに締めてください。
 (モニター裏にある75x75、もしくは100x100のネジ穴の上2つ)
 この際、根元までしっかりと締めずに、3mm程度浮かせた状態にしてください。



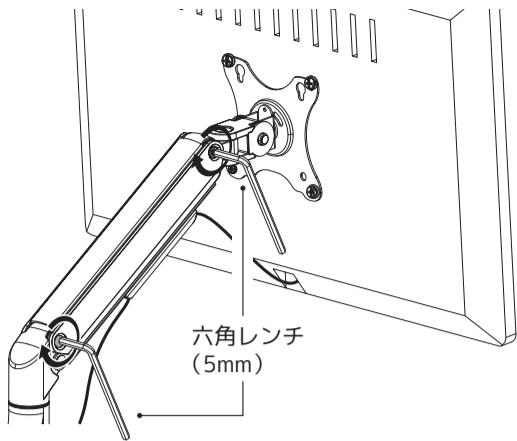
- ② 左図を参照に、①で締めた3mm程度浮かせたネジをアーム①の先端の切り欠けに引っ掛けください。



- ③ 引っ掛けた状態を維持したまま、①でとめていなかった下2つのネジ穴にネジを締めてください。

- ④ 最後に、3mm程度浮かせた状態の上2つのネジを最後まで締め、4つ全部のネジがしっかりと締まっていることを確認してください。

本作業は必ず**※大人2名**で行ってください。



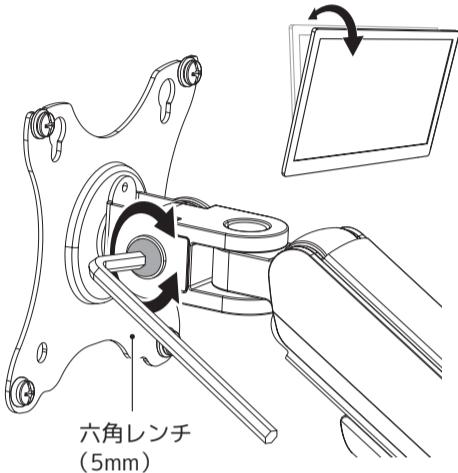
① モニターの位置が下がってくる場合

取り付けたモニターの位置が下がってくる場合は、左図を参照に六角レンチ(5mm)で時計回りにネジを回してください。
時計回りに締めることでスプリングの強さを高めることができます。

⚠ 注意事項

絶対に反時計回りにネジを回さないでください。

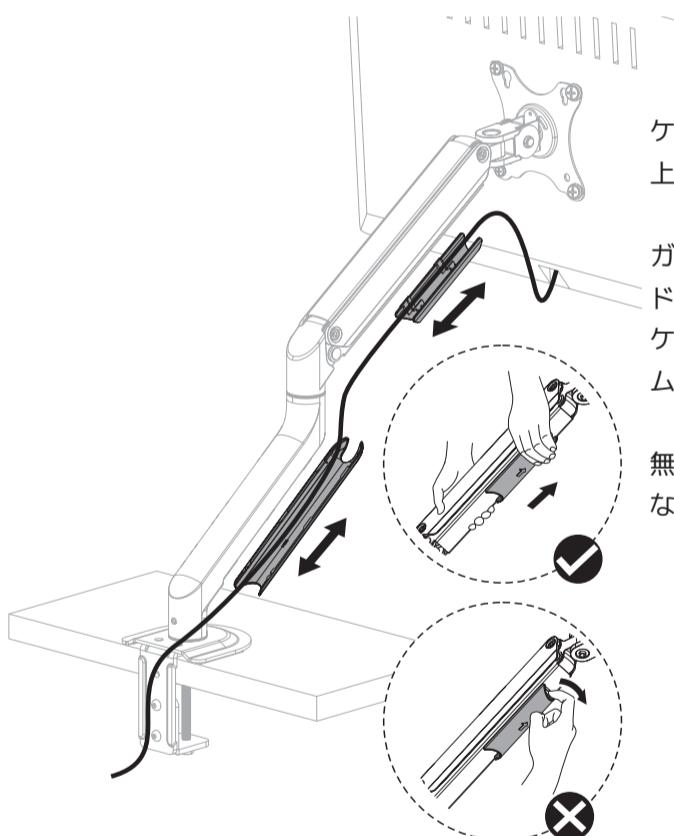
スプリングの強度が下がり急にモニターが落ちることになり非常に危険です。



② モニターが下に向く場合

取り付けたモニターが下に向いてしまう場合は、左図を参照に六角レンチ(5mm)で時計回りにネジを回してください。
時計回りに締めることで固定の強さを高めることができます。
反時計回りにネジを回すと強度を落とすことができますが、モニターが急に下に向くので注意して行ってください。

5 ケーブルガイドの取り付け方法

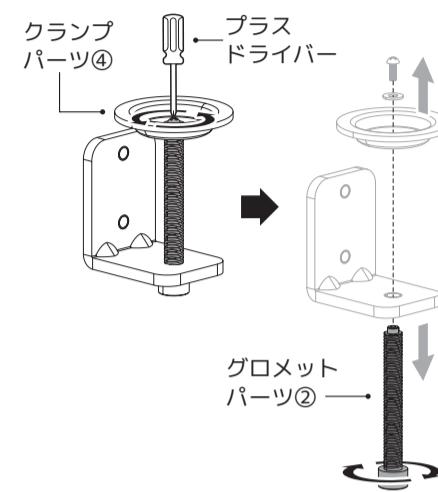
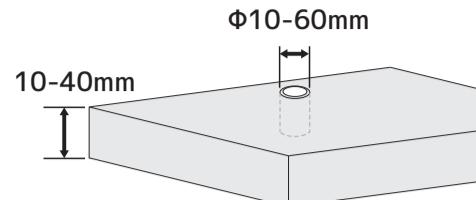


ケーブルガイドを使用する際は、上図を参照に取り付けてください。

ガイド部分を持って、上にスライドをするとガイドが外れるのでケーブルを挟み、逆の操作でアームにガイドを取り付けてください。

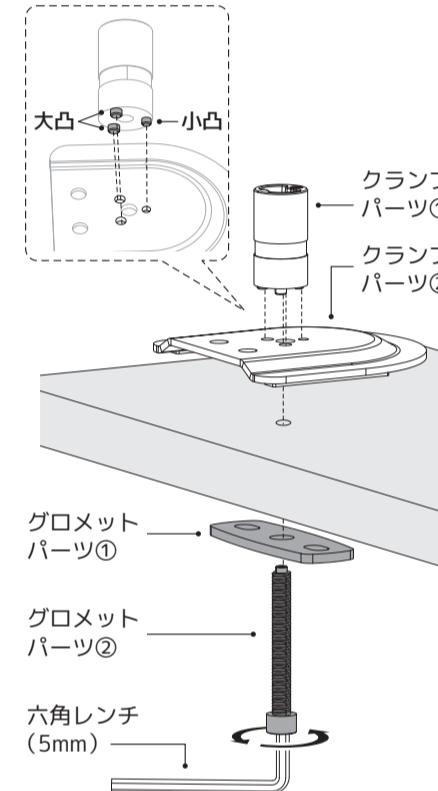
無理に力をかけると破損しやすくなりますのでご注意ください。

下図をご確認の上、下記の手順で組み立て・固定を進めてください。



① グロメット方式で取り付ける場合は
2a の部分を本項に差し替えて組み立てを行ってください。

グロメット方式で固定をする際は
10~40mmの天板の厚みとΦ10~
60mmの取り付け穴が開いている必
要があります。



② 左図を参照にクランプパート④の円盤部分のネジを外し、グロメット取り付けて使用するグロメットパート②をクランプパート④から取り外してください。

③ 左図を参照にグロメットの組み立てを行ってください。
クランプパート①と②を組み合わせる際は小凸が1つ、大凸が2つあるので、それぞれがしっかりとはまるように組み合わせてください。

④ デスクに固定する際は、左図を参考
にグロメットパート②の底面のネジ
を付属の六角レンチ(5mm)で回して
固定をしてください。
緩みがないかを確認ししっかりと固
定をしてください。

組み立て後は 2b ~ 5 の組み立
て行程を同じように行ってください。